

● 構成と対象範囲（研究開発課題）

分冊「深地層の科学的研究」

深地層の科学的研究

地質環境調査技術開発

地質環境モニタリング技術の開発

地質環境の長期安定性に関する研究

深地層の工学技術の基礎の開発

分冊「地層処分研究開発」

処分技術の信頼性向上

人工バリア等の工学技術の検証

設計手法の適用性の確認

安全評価手法の高度化

安全評価手法の適用性の確認

1

分冊「深地層の科学的研究」（その1）



● 位置づけ

- 第1段階研究開発課題 ～ に係る調査研究の成果を中心とした取りまとめ

● 主要メッセージ

- 第1段階調査研究は目標どおりに達成
- 第2段階以降の調査研究の必要性・課題を確認
- 堆積岩を対象とした概要調査の基盤技術を整備

2

● 取りまとめ方針

- 研究所設置地区 / 研究所用地の**選定プロセスの実例**について，技術的・社会的な要件と根拠，結果や問題点などを整理
- 幌延の場の特徴，粘土質岩を対象とした国際的なFEPを考慮し，**重要な地質環境の条件と特性**について各分野の成果を統合
- 幌延を対象とした天然事象の把握と地質環境条件の変化の予測に係る調査研究は，地上からの調査研究に包含
- 調査研究の成果に対する評価，課題および得られた知見（ノウハウや失敗例などを含む）を記述
- 要素技術の開発だけでなく，個別の目的に対する調査技術の選定の考え方や調査の戦略，手法，適用結果などについて整理
- その社会的な重要性から，地下施設建設に伴う**地上および地下を対象とした環境影響評価**の事例を整理

参考：分冊「地層処分研究開発」

● 位置づけ

- 第1段階研究開発課題 ～ に係る調査研究の成果を中心とした取りまとめ

● 基本的考え方

- H17レポートおよび関連する技術資料に基づく取りまとめ
- H17取りまとめ以降の研究の進捗と深地層の科学的研究の成果を踏まえた取りまとめ
- 概要調査において重要と考えられる項目や法定要件などを念頭に置いた取りまとめ